

2025 年 7 月 25 日

## 2024 年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名 一般社団法人三陸&東海防災フォーラム伝

代表者・役職名 氏名 代表理事 松本 大

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

三陸&東海防災フォーラム伝 IN 浜松 「今こそ東海地方の皆さんと学びたい！」

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2017年に仙台と東海の小学校教諭3名(当時・現理事)により任意団体として発足しました。仙台市の小学校の活動『和・話・輪フェスティバル』(「防災に強いまちとは、絆が強いまち」であると学び、6年生が企画する地域貢献イベント)に共感し、三陸の震災体験を東海の人が学ぶことの重要性を強く感じたことが契機でした。2021年に法人化し三陸と東海各地で地域の方と共に防災の企画を続けています。会員8名

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

南海トラフ巨大地震が起こると、浜松市を含めた東海地域だけでなく全国に甚大な被害が及ぶと予測されています。私たちはこれまで、被災が予想される地域(名古屋・岐阜・東京)でフォーラムを行いました。そこに関わって下さった浜松の皆さんの要望と協力を得て、浜松市で共にフォーラムを開催することが決まりました。大切な命と暮らしを守るために、東日本大震災の経験や防災教育の取り組みをお伝えして、東海の皆さんと共に学ぶ機会を提供します。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

開催:2025年6/7(土)~6/8(日)会場:静岡県浜松市福祉交流センター(41ギャラリー・大会議室)7日の内容 ①講演 千葉久美子理事「地域と連携した防災教育」 後藤隆浩氏「あなたの命を守るには？」 西片太郎氏「戦略的防災対策」 ②東日本大震災語り部 紺野堅太氏「大切な人を守るための3つの備え」 ③講演を通して、地震が起きる前・地震が起きた時・地震が起きた後のそれぞれの段階で命を守るために必要な備えを具体的に学びました。最後に参加者によるグルーブトークと成果発表を行いました。④防災用品の展示も好評でした。8日の内容 ①映画「国難 TSUNAMI」「有庵」の上映 ②小櫻景如監督(国難 TSUNAMI 監督)の作品解説。また後日、講演の録画をアーカイブ配信しました。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

2日間で延べ38名、アーカイブ配信は8名の参加でした。当日は当法人理事の基調講演で、仙台市の防災教育から発展した当法人の理念を聞いていただきました。その後の講演では南海トラフ地震とその被害の大きさについて、浜松市に即して具体的に知ることができました。また釜石市で津波を体験した語り部の語りと東海の方たちに伝えたいという思いや、防災映画「国難 TSUNAMI」のリアルな被災状況と復興へ立ち上がる三陸の人々の映像は参加者の共感を呼びました。参加者は地震が起きる前・地震が起きた時・地震が起きた後という3つの視点を持って話し合いを深めました。「保育園ではどう備えたら？」「家族や職場でもっと話し合わなくては」等、身近な内容で具体的に考え、それを共有しあう機会を提供することができました。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

本事業の終了後に多くの参加者から「もっとたくさんの人に今日のような話を聞いてもらいたい。」「他の地域でもこのような貴下があるといい。」等の感想をいただき、本事業の手応えを感じることができました。浜松市の地元で応援して下さる方々と協力し来年度も防災フォーラムを行う方向が決まりました。また当法人の東海の拠点の一つである名古屋での防災イベント開催の方向も見えてきました。新しくできた東海の方々とのつながりを活かして、今後もより地域に即した形で防災・減災活動を行い市民防災に貢献していきたいと思います。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。





第14回 三陸&東海

# 防災フォーラム 伝 IN 浜松

— 今こそ東海の皆さんと学びたい —

2025.6.7土~8日

浜松市福祉交流センター

・浜松駅より徒歩約10分 ・バス停「成子坂」より徒歩3分

6/7 土 10:00 ~14:30 4F ギャラリー41  
●入退自由

6/8 日 9:30 ~12:20 2F 大会議室  
●入退自由

## 講演

9:30~受付 10:00 開会行事

10:10~11:00 「地域と連携した防災教育」  
-仙台市の防災教育モデル校の取組-



講師 千葉 久美子氏

三陸&東海防災フォーラム伝理事 千葉学園代表

地域の絆を子どもたちと共に！  
地域の絆づくりに子どもたちが中心と  
なって貢献した事例をお伝えします

11:10~12:00

「戦略的防災対策」

講師 西片 太郎氏

(株) クレスト・ジャパン代表取締役  
静岡県BCPコンサルティング協同組合所属



防災対策は企業の成長戦略である  
単なるコストではなく活かせる防災対策に  
についてお話しさせていただきます

12:00~13:10 昼休憩

被災地応援販売！ 米どころ宮城の知恵がつまった備蓄食  
夢☆宇宙米おにぎり・チカラモチ他  
展示・販売 レスキューナースの防災リュック

13:10~14:20 語り部講演

「大切な人を守るための3つの備え」

紺野 堅太氏 東日本大震災語り部 防災士



釜石の出来事はなぜ生まれたのか？

釜石の出来事の当事者である私が地震と津波から  
自分と大切な人の命を守る備え方を伝えます

講演の後で グループトークの時間をとります

14:30 閉会

## 上映会

9:15~ 受付

9:30 開会行事

9:40 舞台あいさつ

小櫻 景如氏

映画監督 脚本家  
NPO地球文化交流協会理事長  
『有 庵』脚本 『国難TSUNAMI』監督



9:55~(30分)

特別上映 小川益王監督作品『有 庵』

2017年第2回アジア国際映画祭 平和貢献賞受賞作品  
伊勢志摩サミット記念映画

10:25 講演「映画監督小櫻景如 撮影秘話を語る」

小櫻 景如氏

11:00~(80分)

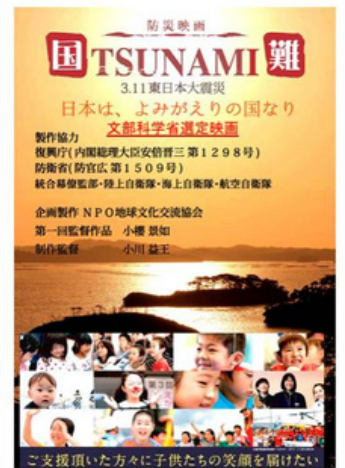
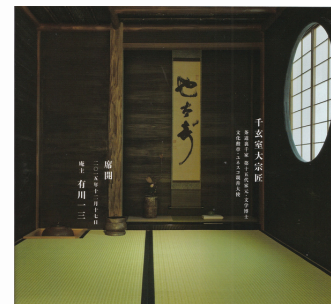
防災映画 『国難TSUNAMI』

文部科学省選定映画

制作協力 復興庁 防衛省

統合幕僚監部・陸上自衛隊・海上自衛隊・航空自衛隊

12:20 閉会



浜松市福祉交流センター 所在地：浜松市中央区成子町140-8

<http://www.h-fukushikoryu.jp/>

●参加費 7日(土)1,000円 8日(日)1,500円  
2日間参加 2,000円 4/30申込まで200円割引

●アーカイブ配信 1,000円 (7日のみ・7月配信予定)

お申込み



●こちらのQRコードまたはURLよりお申し込みください 防災に関心のある方どなたでもご参加ください。定員先着50名 締切 6/1

●URL <https://x.gd/SaGGf>

【主催】一般社団法人三陸&東海防災フォーラム伝  
法人所在地 宮城県仙台市

【共催】株式会社クレスト・ジャパン 千葉学園

【協力】NPO地球文化交流協会

この事業は 真如苑の助成を受けて実施しています  
YS市庭コミュニティ財団の助成を受けて実施しています

伝 お問い合わせ先 den.bosai.hp@gmail.com



# 一般社団法人 三陸&東海防災フォーラム伝

# 伝

仙台市教育委員会指定「防災教育モデル校」のうちのある小学校で実践した「地域連携の防災教育」に共感した東海の仲間と共に立ち上がった法人です。東日本大震災の経験を風化させず全国の皆さんと共に防災について学びたいという思いで、2018年から活動しています。



## 伝の活動より

被災地で学ぶ一釜石市鶴住居を訪ねてー

## 伝の活動紹介

2024.2.11 岐阜フォーラム

5.24-25 被災地に学ぶ(雄勝町・亘理町) 7.14 防災学習会

8.11 東京フォーラム 8.18 東北大学夏セミ

11.10 朝霧野外活動センター朝霧カーニバル出店

11.17 浜松市高台中学校区青少年健全育成会教育講演会講演

12.8 文化映画「有庵」上映会(仙台市)

2025.3.8 仙台防災未来フォーラム 災害アーカイブWS出展

3.9 3.11はなしかたり(仙台市)

## 2025年 伝の活動予定

8.31(日)「311はなしかたり2」:仙台市 2025年秋「被災地に学ぶ学習会」:石巻市

9.6(土)「国難TSUNAMI」・「有庵」上映会:仙台市 以後各地で上映予定

あなたのまちで上映会を開きませんか 協力してくださる団体・個人の方を募集中です

一人でも多くの方に震災のことを伝えたい!全国各地でフォーラムを開催し「国難TSUNAMI」と「有庵」を上映するために、4月30日までクラウドファンディングを公開中です。活動を続けるために皆様のあたたかいご支援をお願い申し上げます。詳細はこちらリンクURLまたはQRコードからご覧ください。

▶<https://camp-fire.jp/projects/753149/view>



▶5月以後は  
伝ホームページ  
にてご寄付を  
承ります。



▶<https://www.bosai-den.com>

## 講師・ゲスト 紹介

### 小櫻景如 氏

文化映画「有庵」の脚本家、防災映画「国難TSUNAMI」の監督。ドキュメンタリー映画の巨匠小川益王監督と共に「東京消失」(関東大震災)や「国難TSUNAMI」(東日本大震災)などの防災映画・文化映画制作に尽力。「国難TSUNAMI」は、2011年3月11日発生の東日本大震災から撮影し2019年完成させた。

NPO地球文化交流協会理事長を務める。神職明階位、大和舞踊、雅楽龍笛、書家、茶道表千家講師としても活躍している。

### 紺野堅太 氏

岩手県釜石市生まれ育ち。釜石東中学校1年生の3月に東日本大震災を経験。釜石市が市を挙げて取り組んでいた「つなみてんでんこ」の防災教育を生かし、鶴住居小学校の児童や近隣住民と共に走って巨大津波から避難。震災後、防災・復興に取り組む中、語り部の活動を開始。愛知県の企業に就職し現在名古屋在住。愛知県を中心に全国的に活動し率先避難の大切さを伝えている。

### 西片太郎 氏

静岡県の地元ホームセンターに勤務し約13年間店長を務める中で、自治体・企業様の防災対策の支援・指導を行う。店長時代に、豪雨災害にて救助や物資が届くまでに時間がかかることを経験。災害に対する取り組みを推進するための事業が必要と実感し、防災事業を立ち上げて独立。

現在、防災対策の指導、防災用品の販売・管理を行うと共に、BCPの講演やコンサルティング事業を行う。

### 千葉久美子 氏

東日本大震災時は仙台市の小学校に勤務し被災。震災後、新たな防災教育モデル校(仙台市教育委員会指定)で防災主任や研究主任として「地域と連携した防災教育」に地域住民の協力を得て取り組む。退職と同時に当団体を法人化し、「千葉学園」を起業。防災教育の講演依頼を受け各地に飛んでいる。復興支援、人材育成、教育相談にあたっている。